

2024年4月

第163号

# ぱれっと



(株)北日本ベストサポート  
TEL 018-883-1888

## 「日銀マイナス金利を解除」

日本銀行は3月18日・19日に開催された金融政策決定会合で、これまで政策として金融機関から預け入れられた預金に対して2007年2月から一定額にマイナス金利を適用してきたが、これを解除することを決定した。

「異次元緩和」と呼ばれた異例の金融緩和からの脱却である。

異次元の緩和策は黒田前日銀総裁の下、「2年で2%の物価上昇」を目標として2013年に始まったものだが、2年で目標達成できず長短金利操作(イールドカーブ・コントロール、YCC)・長短金利が逆転現象や上場投資信託(ETF)・国債などを積極的に購入し打開策を講じてきたものの目論んだように経済の好転を図ることができなかった。

日銀がマイナス金利導入を決めた16年1月の円相場は1ドル=121円台だったが8年たつて円相場は1ドル=150円台に下落し円安が輸入物価の上昇を招き国民に対する負担に結びつく側面も顕著になってきた。

また、今春の大企業の賃上げ率が連合の集計で33年振りに5%を超え、消費者物価指数の上昇率も22ヶ月2%以上となったことから今回の決定を後押しした要因と言われている。

今回の政策変更は約17年ぶりの決定だが植田日銀総裁は「どんどん利上げすることは考えていない」とし緩やかに政策変更の実施を推し進めたい考えのようだ。しかし、こうした日銀の思惑についてマーケットは織り込み済みで、緩和政策打ち切りを発表後、円相場は1ドル=151円台に円安となるなど世界経済の動向や金利政策からしばらく目を離すことができない。

金利操作等による経済の誘導の難しさが今回の「異次元の金融緩和政策」の長期化で伺い知ることができている。

「ぱれっと」の先月号(3月号)で「日本のGDP世界4位に転落」について記載させていただいた。今回の日銀の金融緩和策の変更と合わせて、日本の経済活性化について「漂流する日本企業」(伊丹敬之氏著・国際大学学長を務め経営学で初めて文化功労賞を受賞した)を紹介したい。

本書では「失われた30年」この間、日本の大企業は1.設備投資を抑え2.海外投資を抑え3.人件費を抑えてきた。バブル崩壊時の売上が1300兆円・30年後の2021年は1400兆円わずか100兆円の上昇にしか過ぎない。

労働分配率も2001年には58%程度であったものが2018年には50.4%まで低下している。余ったお金は株式配当や自社株買いとして使われた。株式市場でアクティビスト(物言う株主)の声が大きくなり、設備投資総額よりも配当金総額が上回るという異常事態までとなった。今回の異次元の金融緩和策の終了と併せて本来の「経営」を取り戻す転換の時期到来と前向きに捉えたい。

## 道を開くもの



若人よ、諸君が覚悟をして燃えるとき、諸君には自らもわからぬような無限の可能性が展開されるのだ。

この可能性の展開は、いわゆる頭のよしあしの問題ではなく、実に諸君の火と燃える意志と何ものにも負けない不屈の努力とにあるのである。

情熱、実行、努力・・・これこそが諸君を生かし、諸君を伸ばす力である。

諸君はその目的に向かって全情熱を傾けることだ。

不屈の意志のあるところ、道は開ける。

## 自己との闘い

だれにでも、生まれながら、やればできるという可能性が与えられてはおるのだが、この可能性を引き出して能力にまで伸ばすには、それに必要な引き金がある。

それは、努力である。

この努力は、わがままな自己との闘いになるが、この自己との闘いに克つことなくしては、とうてい人の名にふさわしい尊い人たることはできないであろう。

さあ、がんばろう。



## 努力を習慣に

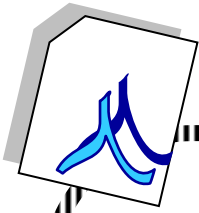
何が大切だと言っても、人生のできるだけ早い日に、この自主的努力を習慣的に身につけるほど大切なことはあるまい。

人生の勝負は普通考えられているようにただ頭脳のみ勝負ではなく、むしろ自主的努力を貫徹する意志力と実行力にあるように思われる。

しじりながら、これに教えられて突進するようになれば、もはやいわゆる失敗などというものはなく、失敗そのものさえが建設への手助けとなるのである。



【平澤 興 一日一言】より



## 山本 五十六 (日本の海軍軍人・元帥海軍大将)

- 明治 17 年 4 月 4 日(1884 年) 新潟県長岡市の旧越後長岡藩士高野貞吉の六男として生まれる。  
子供の頃から負けず嫌いで小学生の頃、「何でも食べるが鉛筆は無理だろう」とからかわれるとその場で鉛筆を食べた。
- 明治 34 年(1901 年) 海軍兵学校 32 期 200 名中 2 番で入学。  
卒業時教官から「もっと喋れ」と注意された。
- 明治 38 年(1905 年) 少尉候補生のまま装甲巡洋艦「日進」に配属。  
5 月 27 日日本海海戦に参加する。
- 明治 42 年(1909 年) アメリカ合衆国駐在武官として赴任。
- 明治 44 年(1911 年) 海軍大学校乙種学生を卒業。海軍砲術学校・海軍経理学校教官となる。
- 大正 3 年(1914 年) 海軍大学校(甲種 14 期)入学。翌年、山本家入籍。
- 大正 8 年(1919 年) 米国駐在を受命。ハーバード大学留学。
- 大正 13 年(1924 年) 霞ヶ浦航空隊付、教頭兼副長。
- 昭和 4 年(1929 年) 海軍少将、ロンドン軍縮会議次席随員。
- 昭和 5 年(1930 年) 海軍航空本部技術部長。海軍航空機発展に尽力。
- 昭和 14 年(1939 年) 第 26 代連合艦隊司令長官に就任。
- 昭和 16 年 12 月 9 日(1941 年) 幕僚にハワイ攻略・セイロン島攻略研究命令。
- 昭和 18 年 4 月 18 日(1943 年) ソロモン諸島・ブーゲンビル島戦地視察途中飛行機が墜落戦死。59 歳。

皇族・華族以外での国葬は国内では最初。

旭日大綬章・大勲位菊花大綬章・功一級金鷄勲章授与

「やってみせ 言って聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は動かじ」の言葉は有名。

### オススメの BOOK



「時給 800 円から年商 10 億円のカリスマ所長になった 28 の言葉」

作者 三浦 由紀江 発行 ダイヤモンド社

著者は 1953 年埼玉県生まれ。21 歳で学生結婚。23 年間専業主婦。1997 年 44 歳時に JR のパートに、45 歳で上野駅の駅弁販売。お客様の立場に立った販売を心がけ、抜群の営業成績を上げ正社員に登用され、大宮営業所長となる。売上を倍増させ年間 10 億円を達成。NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」でも取り上げられた。本書は営業 28 の言葉の収録。

## 交通安全ニュース ～スピードの超過に注意！～

車を運転中、気が付くと思った以上にスピードが出ていたという経験はありませんか。スピードを出しすぎると交通違反の取締りの対象になるだけでなく、重大事故を起こす危険が高まります。

### ◇スピードを出すことの危険

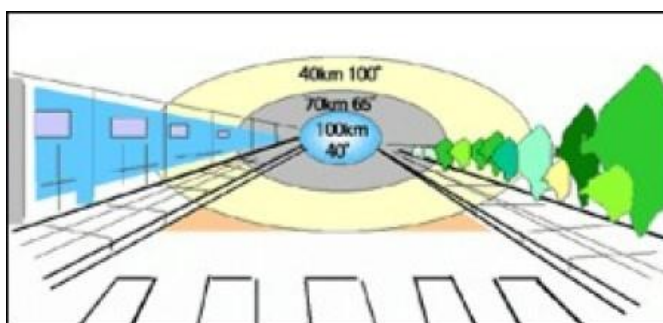
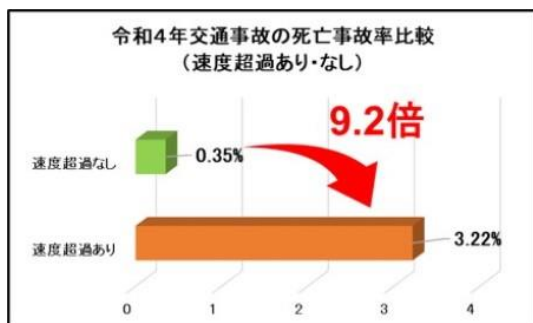
交通事故統計によると、規制速度を超過した交通事故の死亡事故率は、超過しない交通事故の9.2倍となっています。

### ◇視力の低下

スピードを出せば出すほど動体視力は低下します。例えば時速30km程度で走行しているときの動体視力は、静止視力の約60%と言われています。

### ◇停止距離の延伸

停止距離はブレーキが効き始めるまでの「空走距離」とブレーキが効いて車が停止するまでの「制動距離」を合計した距離です。空走距離はスピードに比例しますが、制動距離はスピードの2乗に比例して長くなります。



運転診断アプリや安全運転のサポート機能・運転力の分析機能付きのドライブレコーダーなど自動車保険に特約として付帯し利用できるサービスが多数あります。安全運転に対する意識向上を図ってみませんか。

ご興味のある方はお気軽にお問合せ下さい。

### 【編集後記】

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われているが、今年の秋田の3月は例年に比べて天候不順の日が多かった。

4月に入ると新年度、小学生から大学生まで、また、新入社員として社会人としての大勢の人たちがキラキラ輝いている。

それぞれの人たちが新しい年度に向けて新たな希望と決意を持って第一歩を踏み出す月だ。

平澤興先生の言葉のごとく自分を信じ大きな希望を持って第一歩を踏み出したい。様々な困難とも出会うかもしれないが強い気持ちを持って乗り越えていこう。